

寒河江市保育所整備計画

平成29年3月

寒 河 江 市

目 次

1	はじめに	2
2	保育ニーズ量の見込み	2
3	地区別保育ニーズ量の見込み（平成35年）	2
4	平成29年度見込みの保育施設整備状況	3
5	平成29年度見込み定員と平成35年度ニーズ量見込みの比較 ...	4
6	平成29年度入所申込み状況	6
7	課題と保育所整備の方向性	8
8	保育所整備計画（案）	9

1 はじめに

子育てと仕事の両立支援を推進し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを実現するためには、待機児童ゼロを維持するとともに、希望する施設への入所が可能な受入れ体制を早急に整備する必要があります。

また、勤務形態の多様化に伴う保育時間の延長、低年齢児化、病後児保育等の多様なニーズへの対応が急務となっています。

合計特殊出生率が平成 26 年の 1.48 から平成 27 年は 1.70 へ回復していることもあり、こうした状況に対応するため、保育所整備計画を提案するものです。

2 保育ニーズ量の見込

本市の平成 29 年までの実績と平成 35 年までの年齢区分ごとの保育ニーズ量の見込は以下のとおりです。

【保育施設の年度別ニーズ量見込】

(単位：人)

区 分		H27	H28	H29	H30	H31	H33	H35
需要量の 見込	0 歳	55	86	65	98	112	107	103
	1～2 歳	285	327	348	349	347	345	332
	3～5 歳	527	555	564	503	491	479	473
	計	867	968	977	950	950	931	908

3 地区別保育ニーズ量の見込み（平成 35 年）

各地区の人口比率を見ると、寒河江地区が全体の 47.4%を占め、これに南部、西根、柴橋地区を合わせると、84.4%となります。

【地区別保育ニーズ量の見込】

(単位：人、%)

地区名	0 歳児		1～2 歳児		3～5 歳児		計		割合 H35
	H29	H35	H29	H35	H29	H35	H29	H35	
寒河江	32	52	173	161	240	217	445	430	47.4
南部	3	12	36	39	76	61	115	112	12.3
西根	14	13	55	42	96	60	165	115	12.7
柴橋	6	12	38	40	62	57	106	109	12.0
高松	4	5	13	16	25	26	42	47	5.2
白岩	4	4	15	15	29	23	48	42	4.6
醍醐	1	2	7	8	14	14	22	24	2.6
三泉	1	3	11	11	22	15	34	29	3.2
計	65	103	348	332	564	473	977	908	100.0

※各地区の推計ニーズ量は、市全体の推計ニーズ量を各地区の人口比率で按分した。

4 平成29年度見込みの保育施設整備状況

NO	施設名	定員	設置者	運営方式	整備計画等
1	なか保育所	120	市	市	
2	みいずみ分園	40	市	市	
3	みなみ保育所	90	市	指定管理者	
4	にしね保育所	130	市	指定管理者	H29 から定員増 (100人→130人)
5	しばはし保育所	100	市	指定管理者	
6	しらいわ保育所	90	市	市	
7	たかまつ保育所	90	市	市	
8	ゆりかご子ども園	40	社会福祉法人	社会福祉法人	
9	しばはしさくらんぼ 子供園	45	社会福祉法人	社会福祉法人	
10	さがえさくらんぼ 子供園	96	社会福祉法人	社会福祉法人	
11	あおぞら保育園	30	社会福祉法人	社会福祉法人	
12	寒河江第二幼稚園 (認定こども園)	60	学校法人	学校法人	H28 開所 H29 から定員増 (51人→60人)
13	第2さくらんぼ子供園	19	社会福祉法人	社会福祉法人	H28 開所
14	寒河江やすらぎの里 保育園	5	社会福祉法人	社会福祉法人	H28 開所
計 14 か所		955			

5 平成29年度見込み定員と平成35年度ニーズ量見込みの比較

地区別の入所定員と平成35年度ニーズ量見込み数を比較すると、全体としては955人の定員に対し、ニーズ量見込み数は908人で定員がニーズ量を上回る計算になります。

しかしながら、地区別にみると所在する施設（0～2歳対象の民間立保育所は寒河江地区所在として算定）の入所定員とニーズ量の不均衡がみられ、全員が希望する施設に入所できる状態にはなっていません。

- (1) 寒河江地区は、なか保育所に加え、民間立のゆりかご子ども園、あおぞら保育園、さがえさくらんぼ子供園、しばはしさくらんぼ子供園、第2さくらんぼ子供園及び寒河江やすらぎの里保育園の7施設がありますが、定員は合計355人でニーズ量見込430人に対し、75人程度の不足が見込まれます。
- (2) 南部地区は、寒河江第二幼稚園が認定こども園に移行して平成29年度から定員も増加したことにより、保育の定員が60人分増加し入所定員150人で、ニーズ量見込112人に対し定員が38人上回る見込みですが、寒河江地区など他地区からの利用も十分に予想されます。
- (3) 高松地区には「たかまつ保育所」（定員90人）、白岩地区には「しらいわ保育所」（定員90人）がありますが、高松と白岩地区ニーズ量見込はそれぞれ47人と42人で、醍醐地区からの利用を見込んでも両施設合わせて80人程度は過剰であると見込まれます。
- (4) 年齢区分別にみると、0歳児の入所定員がニーズ量に対し25人分不足する見込みとなっています。

【保育施設に係る地区別入所定員とニーズ量見込の比較】

(単位：人)

地区名	施設名	定員 ①		ニーズ量見込 ②	過不足 (①-②)
		H29		H35	H35
寒河江	なか保育所	120			
	ゆりかご子ども園	40			
	さがえさくらんぼ子供園	96			
	しばはしさくらんぼ子供園	45			
	あおぞら保育園	30			
	第2さくらんぼ子供園	19			
	寒河江やすらぎの里保育園	5			
	計	355		430	△75
南 部	みなみ保育所	90			
	寒河江第二幼稚園	60			
	計	150		112	38
西 根	にしね保育所	130			
	計	130		115	15
柴 橋	しばはし保育所	100			
	計	100		109	△9
高 松	たかまつ保育所	77/90	}		
	計	77		47	30
白 岩	しらいわ保育所	90	}		
	計	90		42	48
醍 醐	たかまつ保育所	13/90	}		
	みいずみ分園	11/40			
	計	24		24	0
三 泉	みいずみ分園	29/40	}		
	計	29		29	0
合 計	0歳児	78		103	△25
	1～2歳児	298		332	△34
	3～5歳児	579		473	106
	計	955		908	47

6 平成29年度入所申込み状況

平成29年度の入所申込みの状況は以下のとおりです。

- (1) 寒河江地区からは、445人が入所申込み（継続を含む）をしていますが、そのうち同地区内の保育所への入所申込み（第1希望）は276人で、残りの169人は、他地区の施設を第1希望に選んでいます。

この理由としては、みなみ保育所やにしね保育所等が「実家に近い」、「通勤経路との関係で便利」などの積極的な理由もありますが

①地区内に受皿が不足していること。

②地区内の希望する施設に入れず、第2、第3希望の施設に入ったが、子どものことを考えてそのまま継続入所する方がいること。

③なか保育所の土曜日の保育時間が12時までであるため、保育時間の長い他地区の施設を希望する方がいること。

なども関係しています。

- (2) たかまつ保育所への入所申込み（第1希望）は86人ですが、地元の高松、醍醐地区からの入所申込みは50人のみで、36人は寒河江地区など他地区からの入所申込み（ほとんどが継続入所）となっています。

- (3) しらいわ保育所への入所申込みは59人ですが、地元の白岩、醍醐地区からの入所申込みは44人で、15人は寒河江地区など他地区からの入所申込み（ほとんどが継続入所）となっています。

【入所申込み（第1希望）の状況】平成28年10月末時点

施設名	地 区									計 (A)	定員 (B)	A/B (%)
	寒河江	南部	西根	柴橋	高松	醍醐	白岩	三泉				
なか保育所	107	3	5	0	0	0	0	1	116	120	96.7	
ゆりかご子ども園	24	1	2	2	1	0	0	4	34	40	85.0	
さがえさくらんぼ 子供園	94	11	29	5	1	1	0	2	143	96	149.0	
しばはしさくら んぼ子供園	19	1	2	11	0	0	0	2	35	45	77.8	
あおぞら保育園	13	0	6	1	0	0	0	1	21	30	70.0	
第2さくらんぼ 子供園	15	2	1	0	2	0	1	0	21	19	110.5	
寒河江やすらぎの 里保育園	4	1	1	2	0	0	0	0	8	5	160.0	
小 計	276	19	46	21	4	1	1	10	378	355	106.5	
南部	みなみ保育所	31	65	4	0	0	0	0	100	90	111.1	
	寒河江 第二幼稚園	35	29	2	0	0	1	2	69	60	135.3	
西根	にしね保育所	33	0	110	0	0	0	0	143	130	110.0	
柴橋	しばはし保育所	33	0	0	79	1	0	0	113	100	113.0	
高松	たかまつ保育所	22	2	2	5	35	15	5	86	90	95.6	
白岩	しらいわ保育所	12	0	0	1	2	2	42	59	90	65.5	
三泉	みいずみ分園	3	0	1	0	0	3	0	29	40	72.5	
合 計	445	115	165	106	42	22	48	34	977	955	102.3	

7 課題と保育所整備の方向性

5及び6の結果を踏まえ、市全体のニーズ量に対応すると共に、希望する施設に入所可能となるようにするには、以下の方向で受入れ体制を整備していく必要があります。

(1) 地域的な受給不均衡の解消

寒河江地区内の入所定員の大幅な増を図る必要があります。その一方で、高松、白岩及び三泉地区の入所定員が過剰となることが予想され、定員を見直す必要があります。

(2) 低年齢児の受入れ拡大

低年齢児、特に0歳児については、定員不足が生じており、受入れ増を図る必要があります。

(3) なか保育所の新築移転

なか保育所については、本市の保育施設の基幹保育施設であり、低年齢児受入れ等の新たなニーズへの対応、施設の老朽化、周辺道路の混雑と交通安全上の課題などがあり、新築移転及び定員の見直しを図る必要があります。

(4) 土曜日の保育時間の拡大

勤務形態の多様化、核家族化の進行等に伴い、土曜日も1日保育を希望する保護者が増えています。現在、市立保育所のうち、直営4施設（なか、みいずみ、しらいわ及びたかまつ）については、午後0時までの保育としていますが、こうしたニーズに応えるため、土曜日の1日保育を全保育所で実施する必要があります。

(5) 市立保育所の改築

市立保育所については、昭和40年代後半から50年代にかけて建築されており、全体的に老朽化が進んでおり、保育環境の改善、低年齢児保育への対応などの課題もあり、計画的に改築を図る必要があります。

8 保育所整備計画（案）

以上のような状況を踏まえ、今後の本市における保育施設の整備運営について、**待機児童ゼロの継続、希望した保育施設への入所が可能になるよう**、次のように提案します。

- (1) 寒河江地区内の入所定員の大幅な増を図るため、なか保育所について新築移転し、定員の見直し及び低年齢児の受入れ拡大を図るとともに、一時預かりの機能を整備する。
- (2) 現在指定管理者制度を導入している「みなみ保育所」、「にしね保育所」及び「しばはし保育所」については、順次民間への移管を図り、定員の見直しを含め施設の改築・整備を支援する。
- (3) なか保育所については、本市における子育て支援の拠点施設として市直営で運営していく。また、しらいわ保育所及びたかまつ保育所については、人口減少が見込まれるなかで今後の保育ニーズを踏まえ対応していくことが必要であるため、**今後のあり方を検討しながら**市直営で運営していく。そのために必要な保育士等の計画的な採用、配置を行う。
- (4) 全ての保育所で、土曜日の1日保育を実施する。
- (5) 保育所整備計画に伴う施設整備等年次計画は以下のとおりです。

【施設整備等年次計画（案）】

区 分.	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
寒河江第二幼稚園 認定こども園	建設	開 所 (民間立)	定員増						
なか保育所の 新築移転			設計	建設	開 所 (直営)				
たかまつ・しらいわ 保育所のあり方検討					検 討				
みなみ保育所改築 指定管理期間 H27～31				補助金 県協議	建 設	開 所 (民間立)			
しばはし保育所改築 指定管理期間 H26～28、H29～33						補助金 県協議	建 設	開 所 (民間立)	
にしね保育所改築 指定管理期間 H25～29、H30～34		増 築	定員増				補助金 県協議	建 設	開 所 (民間立)